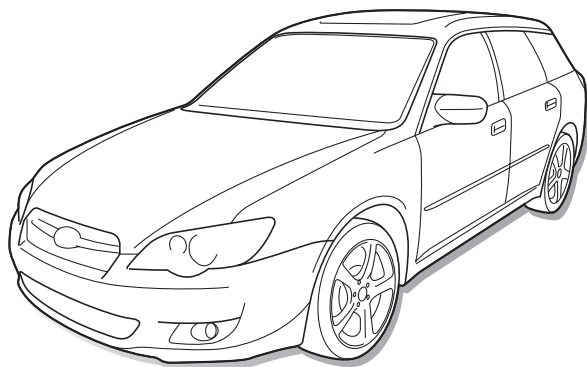


このたびは「レガシィ」を お買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「EyeSight (アイサイト)」の取り扱いかたについて必要事項・重要事項をご説明しています。

安全で快適にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

EyeSightは運転者への事故被害や運転負荷を軽減するためのシステムです。運転するときは常に周囲の状況に気をつけて、安全運転を心がけてください。



- 交通ルール・マナーを守り運転しましょう。
- 「EyeSight (アイサイト)」以外の取り扱いについては、別冊の取扱説明書を併せてお読みください。
- スバル販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- 保証内容および点検整備については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 取扱説明書は「メンテナンスノート」とともに、お車に保管してください。
- お車をゆずられるときは、次のオーナーのために保証の有無にかかわらず取扱説明書、メンテナンスノートをお車につけておゆずりください。
- ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。


車の仕様などの変更により、本書の内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。


本書の見かた

表示やマークについて


安全に関する表示

車に乗っている人や歩行者を含めた他の人が傷害を受ける可能性のあることや車体が損傷する可能性があることを回避法とともに示しています。

 警告	指示に従わないと、死亡、または重大な傷害を負う可能性があります。
---	----------------------------------

 注意	指示に従わないと、傷害を負う可能性があります。 また、車体が損傷する可能性があります。
---	--

その他の表示

 アドバイス	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
--	-------------------------------

EyeSight (アイサイト)

EyeSightについて	2
全車速追従機能付クルーズコントロール	8
プリクラッシュブレーキ	40
AT誤発進抑制制御	43
車線逸脱警報	45
ふらつき警報	47
先行車発進お知らせ	49
ブザー音一覧	50
警告画面表示一覧	51
故障と思う前に	52
さくいん	さくいん-1

EyeSightについて

EyeSight (アイサイト)

EyeSightはさまざまな機能によって、ドライバーの判断を助け、安全・快適で疲れの少ない運転を可能にする運転支援システムです。スバル独自のステレオカメラを用いたEyeSightは、2台のCCDカメラでのステレオ画像処理技術を駆使し、先行車・車線・ガードレールなどの前方道路環境を認識するセンサーおよびコントローラーです。

警告

EyeSightを絶対に過信しないでください。EyeSightは、運転者の判断を補助し、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。わき見運転やぼんやり運転などドライバーの前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良下での運転を支援する装置ではありません。また、衝突を回避する装置ではありません。運転時は常に先行車との車間距離や、周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど車間距離を保ち、安全運転を心掛けてください。

- 以下の状況では、システムが正しく動作しません。プリクラッシュブレーキ機能を解除してください。また、全車速追従機能付クルーズコントロール機能を使用しないでください。
 - － タイヤの空気圧が適正でないとき
 - － 応急用スペアタイヤを装着しているとき
 - － 指定サイズ以外のタイヤを装着しているとき
 - － タイヤチェーンを装着しているとき
 - － 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
 - － ブレーキ警告灯が点灯しているとき
 - － 重い荷物を積んで車が傾いているとき
- ステレオカメラの性能には限界があります。ステレオカメラは2台のカメラの見え方の差を利用して先行車や車線を認識しています。そのため、人間の眼で見にくい下記のような状況下では、ステレオカメラでも同様に障害物を認識しづらくなります。前方に注意して走行するか、プリクラッシュブレーキおよび追従クルーズコントロールを解除してください。また、このときカメラが一時停止することがあります。
 - － 先行車や対向車両の水や雪などの巻き上げや砂や煙が舞い、視界が充分でないとき
 - － 急カーブ、急な上り坂、急な下り坂の場合
 - － 夜間またはトンネル内で、先行車のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口を通過するとき
 - － トレーラーなど後面に凸凹がある車両が先行している場合（自車との距離を測りにくい）
 - － 先行車が急ハンドル、急加速、急減速したとき
 - － ヘッドランプが汚れていたり、光軸がずれているとき（対象物を正しく照射できないため認識しにくい）

- フェンス、縦縞模様の壁、模様がまったくない壁がある場合
- 道路脇に歩行者などがいる場合
- 自車のバンパーのごく近くに、車、二輪車、自転車、歩行者などが存在する場合
- ウインドウウォッシャーの使用または使用後で、フロントガラスが十分に拭き取れていないとき

🏠 アドバイス

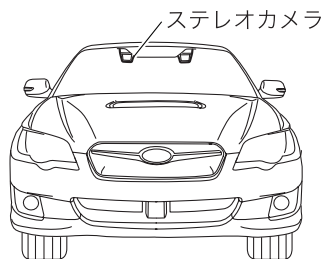
- 以下の状況では先行車、二輪車、歩行者、路上の障害物を認識しづらくなり、ステレオカメラが一時停止状態になる場合があります。この場合、状況が改善されれば再び機能は動作します。
 - 悪天候時（強い雨、吹雪、濃霧など）
 - 前方から強い光（逆光やヘッドランプのハイビーム光など）を受けたとき
 - フロントガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着し、ステレオカメラの視界を遮っているとき
 - 炎天下で放置した後など車内の温度が高いとき、または極寒の環境で放置した後など車内の温度が低いとき
 - VDCをOFFにしたとき
- EyeSight は、プリクラッシュブレーキが作動したときに下記のデータを記録・蓄積します。会話などの音声は記録しません。
 - ステレオカメラの画像情報
 - 先行車との車間距離
 - 車速
 - ハンドルの操舵角
 - 進行方向に対しての横方向の動き
 - アクセルペダルの操作状況
 - ブレーキペダルの操作状況
 - セレクトレバーの位置
 - ABS、VDCおよびTCSの制御に関する情報

スバルおよびスバルが委託した第三者は、記録されたデータを、車の研究開発目的に取得・流用することがあります。なお、スバルおよびスバルが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

 - お車の所有者の同意がある場合
 - 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
 - 統計的な処理を行うなどの使用者や車が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

ステレオカメラについて

ステレオカメラは天井のスポットライト部分に装着されています。



S00248

⚠ 注意

- ステレオカメラ前面の汚れを自動で判定する機能を備えておりますが、万全ではありません。
状況によっては、ステレオカメラ前面が汚れていても判定できない場合があります。また、フロントガラスのステレオカメラ付近に雪や氷などが付着したときも、判定できない場合があります。このような状況では、車間距離が適切に保てない場合がありますので、常に前方に注意して走行してください。また、フロントガラスはいつもきれいにしておいてください。なお、汚れを判定した場合は、プリクラッシュブレーキおよび追従クルーズコントロールが自動的に解除されます。
- ステレオカメラのレンズ部は精密部品です。取り扱いについては、下記の注意事項を守ってください。
 - －ステレオカメラのレンズ部には絶対に触れないでください。また、レンズ部は清掃しないでください。
万一、レンズ部に触ってしまった場合は、必ずスバル販売店にご相談ください。
 - －フロントガラスを清掃するとき、ステレオカメラのレンズ部にガラスクリーナーなどが付着しないように注意してください。
 - －ステレオカメラに強い衝撃や力を加えないでください。
 - －ステレオカメラを取り外したり、分解しないでください。
 - －ステレオカメラの取り付け位置を変更したり、周辺構造物の改造をしないでください。
 - －フロントガラス（外側、内側）は常にきれいな状態に保ってください。
 - －フロントガラス（外側、内側）にステッカーを貼ったり、アクセサリを取り付けしないで下さい。
 - －フロントガラスの曇りに注意してください。
 - －フロントガラスにガラスコーティング剤などを使用しないでください。
システムが正常に作動しない場合があります。

- －ワイパーブレードは早めに交換してください。(拭き残しにより、障害物を認識しにくくなる場合があります)
- －スバル純正品以外のミラー（ワイドタイプミラーなど）を装着しないでください。ステレオカメラの視野に影響し、機能が正常に動作しない可能性があります。
- －スバル純正品以外のワイパーブレード、スノーブレードを装着しないでください。ステレオカメラの視野に影響し、機能が正常に動作しない可能性があります。
- －インストルメントパネル上に物を置かないで下さい。フロントガラスへの映り込みにより、ステレオカメラが正常に作動しない場合があります。詳しくはスバル販売店にご相談ください。
- －フロントガラスを交換・修理する場合は、スバル販売店にご相談ください。

EyeSightの機能について

EyeSightには、次の6つの機能があります。

①全車速追従機能付クルーズコントロール

クルーズコントロールをセットした場合、同一車線内に先行車がいなきにはセットしたときの車速で定速走行をします。同一車線内に、セットした車速より低速の先行車を認識したときには、適切な車間距離を保ち追従走行します。自車と先行車との車速に応じて車間距離を制御します。

☆8ページ参照

②プリクラッシュブレーキ

前方の車両や障害物に衝突する可能性があるとき、車間距離警報により、ドライバーの回避操作を促します。それでもドライバーの回避操作がない場合、自動的にブレーキをかけ衝突被害を軽減します。

☆40ページ参照

③AT誤発進抑制制御

ギヤの入れ間違いやペダルの踏み間違いによる誤った前進を抑制します。

☆43ページ参照

④車線逸脱警報

走行中、車線を逸脱しそうになると、注意を促します。

☆45ページ参照

⑤ふらつき警報

つかれやよそ見、ぼんやり運転、横風などによるふらつきを検知し、注意を促します。

☆47ページ参照

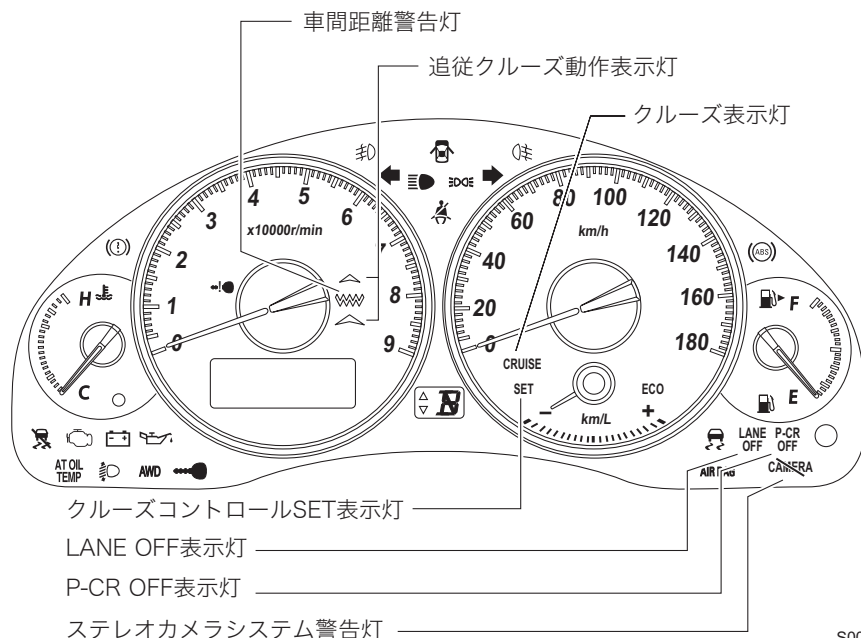
⑥先行車発進お知らせ機能

先行車が発進しても気づかない場合にお知らせします。

☆49ページ参照

メーター表示構成

■表示灯・警告灯



●クルーズ表示灯 [追従/定速クルーズコントロール共通]

- 全車速追従機能付クルーズコントロールをONにすると点灯します。

⚠ 注意

- 走行中にこの表示灯の点滅とエンジン警告灯の点灯が同時に発生したときは、直ちに車を安全な場所に停めてスバル販売店に連絡し、点検を受けてください。
- エンジンなどに異常がある場合は、全車速追従機能付クルーズコントロールはONにできません。

🏠 アドバイス

CRUISE (クルーズ) スイッチを押しながらエンジンを始動させると、クルーズ表示灯が点滅します。この場合、一旦エンジンスイッチをOFFにしてCRUISE (クルーズ) スイッチに触れずに再度エンジンを始動させてください。

●クルーズコントロールセット表示灯 [追従/定速クルーズコントロール共通]

- クルーズコントロールをセットすると表示灯が点灯します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

●追従クルーズ動作表示灯 [追従クルーズコントロール使用時]

- 追従クルーズコントロールをセットすると下側の表示灯が点滅します。
先行車を認識すると上側の表示灯が点滅し、下側の表示灯が点灯に切り替わります。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

●車間距離警告灯

- 下記の場合に車間距離警告灯が点滅します。
 - －車間距離警報作動時
 - －ブレーキ踏み増し要求警報作動時
 - －プリクラッシュブレーキ作動時
 - －AT誤発進抑制制御作動時
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

●LANE OFF表示灯

- 車線逸脱警報およびふらつき警報がOFFのとき点灯します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。

●P-CR OFF表示灯

- プリクラッシュブレーキおよびAT誤発進抑制制御がOFFのときに点灯します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。

●ステレオカメラシステム警告灯

- EyeSightが故障したときに点灯します。
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、約2秒後に消灯します。

全車速追従機能付クルーズコントロール

全車速追従機能付クルーズコントロールは、高速道路や自動車専用道路でのドライブをより快適に行っていただくために車速と車間距離を電子制御する運転支援システムです。

全車速追従機能付クルーズコントロール機能を過信しないでください。

全車速追従機能付クルーズコントロール機能は、快適な運転を支援するためのものです。わき見運転やぼんやり運転など、ドライバーの前方不注意や視界不良での運転操作を補助する装置ではありません。また、追突を防止する装置ではありません。

運転時は、常に先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキペダルを踏むなどして車間距離を保ち、安全運転に努めてください。

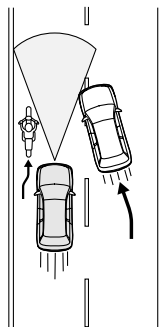
警告

- 全車速追従機能付クルーズコントロール機能は、高速道路や有料道路など、自動車専用道路での使用を想定しています。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。
 - － 一般道（自動車専用道路以外）
道路環境（道路が複雑な場合など）により、自動ブレーキが作動することがあり、事故につながるおそれがあります。
また、交通環境に沿った走行ができない場合があります。
 - － 急カーブがある道
 - － 凍結路や積雪路など滑り易い路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - － 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
交通環境に沿った走行ができない場合があります。
 - － 急な下り坂で先行車を認識していない場合
全車速追従機能付クルーズコントロールの制御による自動ブレーキを行わないため、セットした車速を超えてしまうおそれがあります。
 - － 急な下り坂で先行車を認識していて、追従走行している場合
ブレーキが過熱するおそれがあります。
 - － 急な上り坂、下り坂を繰り返す道や陸橋など
先行車を正確に認識できず、先行車に接近しすぎても警報が鳴らないことがあります。
 - － インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリア、ジャンクション、料金所などに進入するとき
先行車を認識できない場合があります。
 - － トンネルの出入り口など、明るさが急に変化するとき
- 次に挙げる物体は、ステレオカメラでの認識が困難な場合があります。必要に応じてブレーキペダルを踏むなどの操作を行ってください。
 - － 速度差が大きい車両（低速走行車両や停止車両）
 - － 割り込み車両
 - － 道路脇を走行中の二輪車
 - － 歩行者、動物

- 全車速追従機能付クルーズコントロール機能使用中は、ブレーキペダルの下に足を置かないでください。追従クルーズコントロールの制御により、自動ブレーキが作動すると、足が挟まれたり、減速が足りなくなるなど、危険な状態となります。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないときは、必ずクルーズスイッチをOFFにしてください。スイッチをONにした場合、追従クルーズコントロールまたは定速クルーズコントロールがセットされ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ステレオカメラによる先行車の認識について

- 以下のような道路形状や、自車の状況によっては、先行車を認識できない場合や、逆に隣車線の車両や路側の構造物を認識することがあります。このとき、警報や自動ブレーキの作動による減速、あるいは、一時的に先行車を認識できず、先行車に接近しすぎる場合があります。このような状況では、追従クルーズコントロールを使用しないでください。
- 近距離ではステレオカメラの認識エリアが狭いため、間近に割り込んでくる先行車の認識が遅れるなど、車間距離が適切に保てない場合があります。

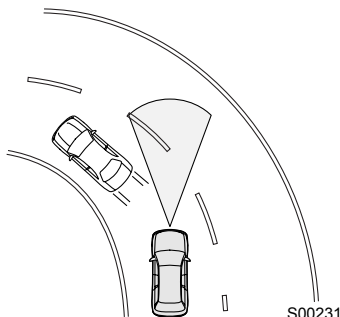


S00182

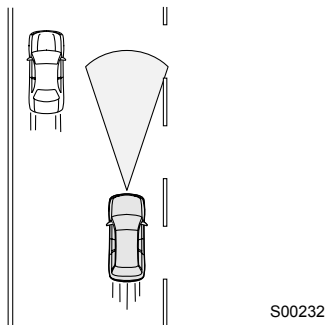
次ページへ ⇒

⇒前ページより

- － 極端に車間距離が狭い場合は先行車を認識できないことがあります。
- － カーブ路、カーブの出入り口、カーブが連続している道路では、先行車が認識エリアから外れて認識できない場合があります。



- － 先行車との位置が横にずれている場合は、認識できない場合があります。



- － 自車が車線内で蛇行しているとき
 - － 凹凸のある道路を走行しているとき
 - － 車線規制や工事中などで、車線の幅が狭い道路を走行しているとき
 - － 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
 - － 自車の荷室やリヤシートに極端に重い荷物を積んだとき
(ステレオカメラが上を向いてしまうため、先行車の認識が遅れる場合があります)
- ブレーキ警告灯が点灯しているときは、追従クルーズコントロールを使用しないでください。
 - 日常点検でタイヤおよびブレーキに異常がないことを確認してから使用してください。

☆別冊のメンテナンスノート参照

全車速追従機能付クルーズコントロールの機能

全車速追従機能付クルーズコントロールには、次の機能があります。

■追従クルーズコントロール

設定した車速で一定速走行します。先行車がいる場合は、車間距離を保って追従走行を行います。自車速が 0 km/h ~100 km/h のときに設定することができます。

設定できる車速：40 km/h ~100 km/h

追従クルーズコントロールが制御できる速度の範囲：約 2 km/h ~100 km/h

☆24ページ参照

●ブレーキ踏み増し要求警報

追従クルーズコントロールによるブレーキ制御では減速しきれないと判断した場合に、ブザー音と表示でお知らせします。

☆22ページ参照

■定速クルーズコントロール

設定した車速で一定速走行します。ただし、先行車に追従走行する機能はありません。自車速が 40 km/h ~100 km/h のときに設定することができます。

設定できる車速：40 km/h ~100 km/h

☆34ページ参照

注意

全車速追従機能付クルーズコントロールを使用するときは、追従クルーズコントロール、定速クルーズコントロールのどちらのクルーズコントロールが選択されているかをマルチインフォメーションディスプレイで必ず確認してください。

- 追従クルーズコントロール

全画面表示



簡易画面表示



S00151

- 定速クルーズコントロール

全画面表示



簡易画面表示



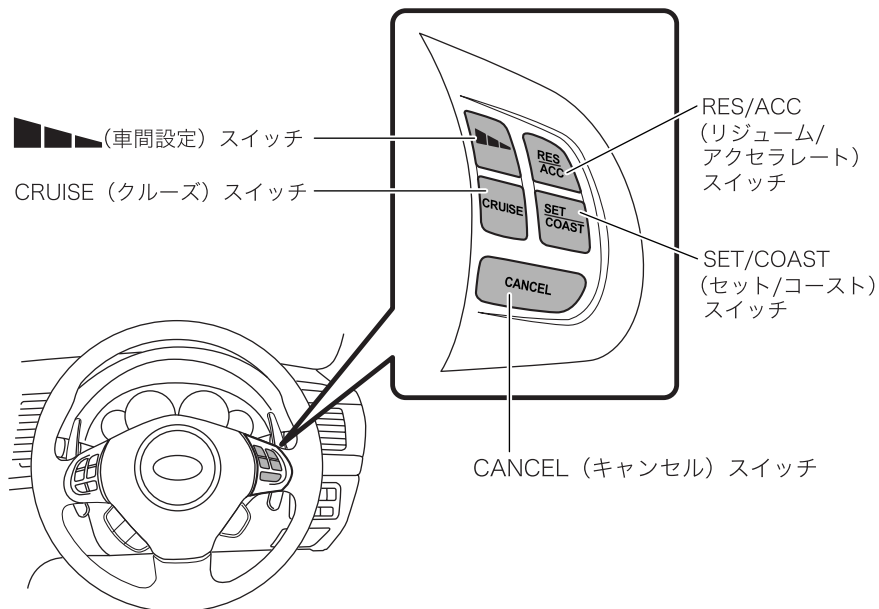
S00171

アドバイス

- CRUISE（クルーズ）スイッチを ON にしたときは、初めは追従クルーズコントロールになります。
- クルーズコントロールの切り替えは、車間設定スイッチを約2秒以上長押しする事により行います。
(追従クルーズコントロールおよび定速クルーズコントロールをセットしていないときのみ有効)

スイッチ構成

■ステアリングスイッチ [追従/定速クルーズコントロール]



S00266

●CRUISE (クルーズ) スイッチ

- 全車速追従機能付クルーズコントロールのON・OFFができます。

●SET/COAST (セット/コースト) スイッチ

- クルーズコントロール※のセットができます。
- セット車速を下げるができます。(クルーズコントロール※がセット中のとき)
- 自車を減速させることができます。(クルーズコントロール※がセット中のとき長押し)

●RES/ACC (リジューム/アクセラレート) スイッチ

- クルーズコントロール※を解除後、解除前のセット車速に再びセットすることができます。
- セット車速を上げることができます。(クルーズコントロール※がセット中のとき)
- 自車を加速させることができます。(クルーズコントロール※がセット中の長押し、ただし先行車に追従走行を行っている場合は除く)

●CANCEL (キャンセル) スイッチ

- クルーズコントロール※のセット状態を解除できます。

※追従クルーズコントロールおよび定速クルーズコントロール

● (車間設定) スイッチ

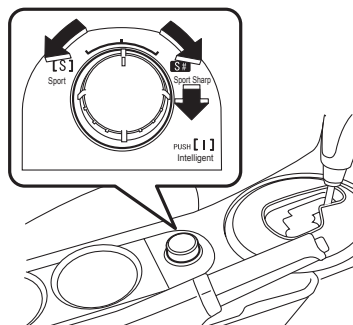
- 車間距離の設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。(追従クルーズコントロールのみ)
- 約2秒以上長押しすることで追従クルーズコントロールと定速クルーズコントロールを切り替えることができます。

■ SI-DRIVE※セレクトスイッチ

SI-DRIVE に連動した追従特性の切り替えを行います。(追従クルーズコントロールのみ)

☆22ページ参照

※SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

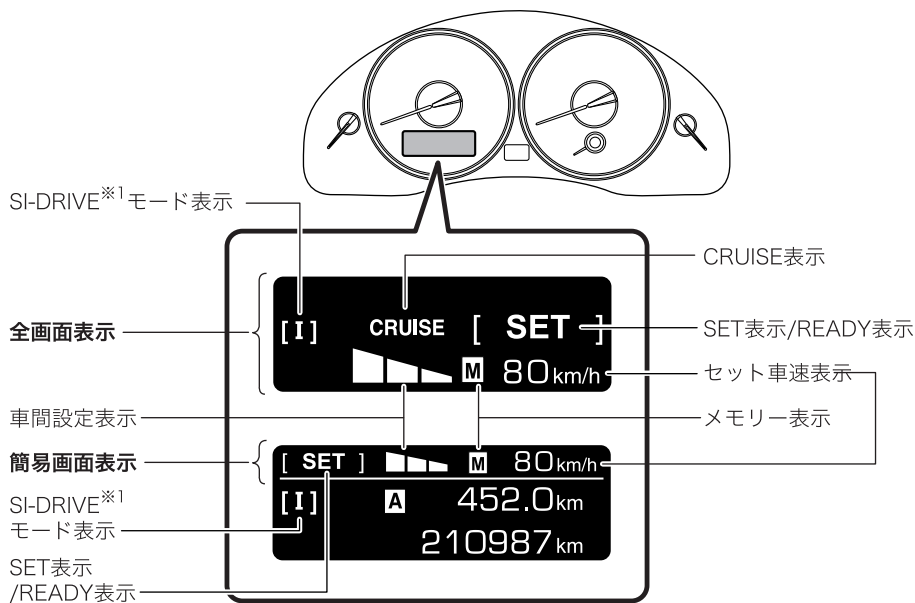


マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイはメーター内にあります。

全車速追従機能付クルーズコントロール使用時は、動作状態などの情報をマルチインフォメーションディスプレイへ表示します。表示には、全画面表示と、車両情報画面の上に表示される簡易画面表示があります。

① 追従クルーズコントロール



S00267

■ 車間設定表示

車間設定スイッチで設定した車間設定を表示します。

■ CRUISE表示

CRUISE（クルーズ）スイッチをONにすると全画面表示とともに表示します。

■ SET表示

追従クルーズコントロールがセット状態のとき表示します。

■ READY表示

追従クルーズコントロールがセット可能なとき表示します。

■セット車速表示

現在のセット車速を表示します。

■メモリー表示

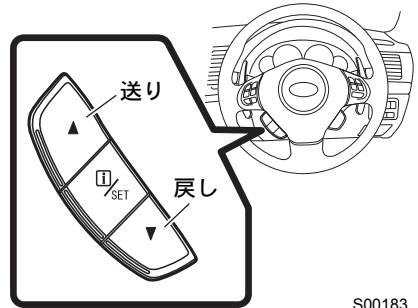
前回のセット車速を記憶している場合に表示します。

■SI-DRIVE※¹モード表示

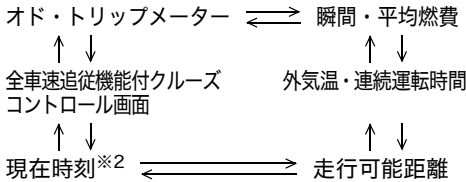
現在のSI-DRIVEモードを表示します。

■全画面表示と簡易画面表示の切り替えかた [追従 / 定速クルーズコントロール共通]

ハンドル左下にある操作スイッチ「▲」と「▼」を操作することで画面が切り替わります。全車速追従機能付クルーズコントロール画面を選択すると全画面表示、その他の画面を選択すると全車速追従機能付クルーズコントロールは簡易画面表示になります。



S00183



🏠 アドバイス

- 全車速追従機能付クルーズコントロールを使用中SI-DRIVE※¹のモードを切り替えた場合は、SI-DRIVE表示を3秒間表示し、切り替え前の画面表示に戻ります。
- CRUISEスイッチをOFFにした場合は、オド・トリップメーター画面を表示します。
- 全車速追従機能付クルーズコントロールを ON にしているときは、SI-DRIVE※¹画面に代わり、全車速追従機能付クルーズコントロール画面が表示できるようになります。

※¹ SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

※² 現在時刻はスバル純正ナビゲーション装着車のみ

■クルーズセット解除表示

追従クルーズコントロールが解除されたとき、以下の画面が数秒間表示されます。

- クルーズキャンセル表示
追従クルーズコントロールが解除されたとき、約3秒間表示します。



CRUISE
CANCEL

S00196

- 車両スリップキャンセル表示
以下の場合、表示1を約3秒間表示後、表示2を約3秒間表示します。
－ ABS、VDCまたはTCSが作動したとき
－ タイヤが空転したとき

☆31ページ参照

表示1



CRUISE
CANCEL

表示2




CRUISE
CANCEL

S00207

■カメラ一時停止表示

ステレオカメラの機能限界などにより、ステレオカメラを一時停止しているときに表示します。このとき、セット操作を行うことができません。

☆詳しくは51ページの「警告画面表示一覧」をご覧ください。

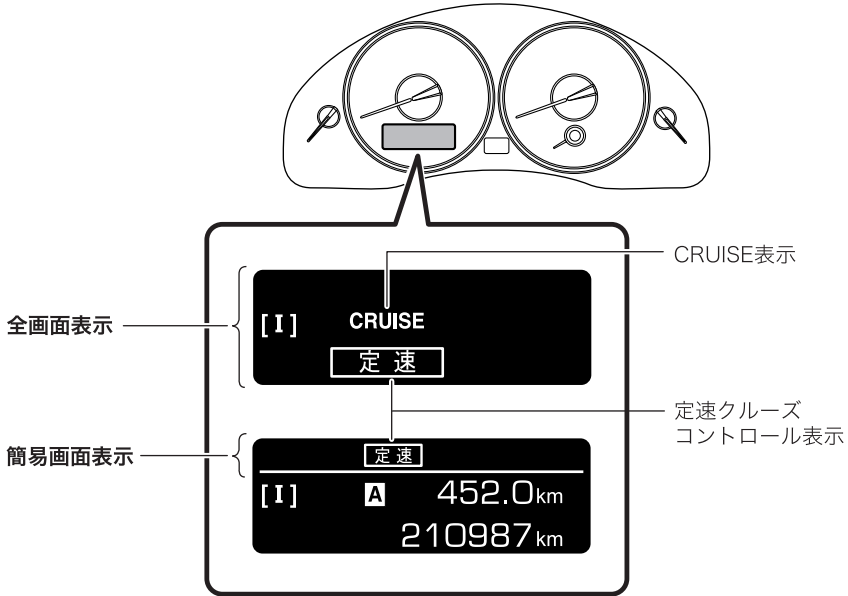
- “カメラ調整必要”
ステレオカメラの光軸のズレやその他の故障を検知し、ステレオカメラの機能を停止しているときに表示します。
簡易画面表示をしている際に一時停止となった場合は、全画面表示を約3秒間表示後、簡易画面表示にステレオカメラの一時停止状態を表示します。
- “カメラ一時停止”
ステレオカメラを一時停止しているときに表示します。一時停止の原因が解消されれば、自動で復帰します。
簡易画面表示をしている際に一時停止となった場合は、全画面表示を約3秒間表示後、簡易画面表示にステレオカメラの一時停止状態を表示します。

🏠 アドバイス

次の状態の場合にも“カメラ一時停止”が表示されます。

- エンジンが停止している状態でエンジンスイッチをONにしたとき。
- エンジン始動した直後。

② 定速クルーズコントロールの表示



S00268

■ 定速クルーズコントロール表示

定速クルーズコントロールを使用しているとき表示します。

■ CRUISE表示

CRUISE（クルーズ）スイッチをONにすると全画面表示とともに表示します。

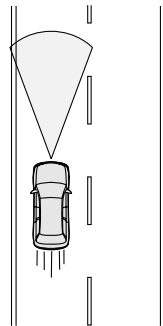
追従クルーズコントロール

追従クルーズコントロール（全車速追従機能）は前方約90 m以内の自車線上の先行車をステレオカメラによって認識して、その距離・速度などを測定し、運転者が設定した車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら追従走行を行います。

■追従クルーズコントロールの作動

●先行車がない場合

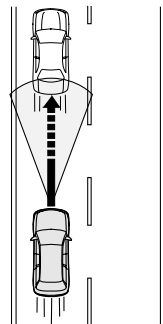
セット車速（40 km/h～100 km/h）で定速走行します。



S00139

●先行車がいる場合

セット車速（約40 km/h～100 km/h）を上限として、車速に応じた車間距離を保ちながら追従走行を行います。

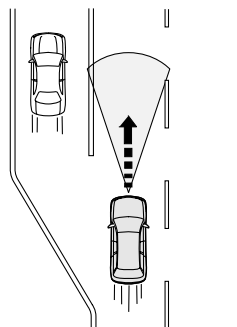


S00140

追従走行開始後は先行車の動きに合わせて制御を続け、停止間際（約2 km/h）に自動で追従走行を解除します。自動ブレーキが解除されてクリープ走行を開始しますので、必要に応じてブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。

●先行車がいなくなった場合

先行車を認識しなくなったときは、セット車速までゆっくりと加速し、定速走行を行います。



S00142

警告

本機能は、快適な運転を支援するためのものです。決して過信せず、交通環境に注意して安全にご使用ください。

- 追従クルーズコントロールの能力には限界があります。先行車を認識していても速度差が大きい場合や急減速した場合は減速が間に合わないことがあります。必要に応じてブレーキを踏んで減速してください。
- 停止車両や速度差が大きい車両は捕捉が遅れる場合があるため、必要に応じてブレーキを踏んで減速してください。

注意

- 追従走行開始後は、先行車の動きに合わせて停止付近まで制御を続け、停止間際に自動で追従走行を解除するとともにクルマが停止します。ただし、次のような場合は、停止しないことがあります。ブレーキペダルを踏み車間距離を保ってください。
 - － 下り坂や、路面の勾配が変化したとき
 - － エンジン起動直後～走り出してからしばらくの間（暖機運転終了までを目安としてください）
 - － 寒いとき
 - － 雨の日
 - － 連続してブレーキを使用した場合
 - － 先行車がかくゆっくり停止した場合
- 本機能は、停止状態を保持しません。停止後、ゆっくりと自動ブレーキが解除され、クリープ走行を開始します。必ずブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。（状況により停止しない場合もあります。）また、停車状態からの自動発進は行いません。

- 追従クルーズコントロールは自動ブレーキを行います。先行車が急に減速したときや強い減速をしたとき、また、自車の前に他の車両が割り込んできた場合など十分な減速ができない場合があります。ブレーキペダルを踏み車間距離を保ってください。
- 下り坂ではエンジンブレーキが効かないため、セットした車速を超えてしまう場合があります。このような場合自動ブレーキは作動しません。
- 自動ブレーキ作動時は、ブレーキペダルが奥に引き込まれ、自動ブレーキ終了後は、ブレーキペダルは元の位置に戻ります。このとき、足があたると、元の位置まで戻らずに追従クルーズコントロールがキャンセルされません。

アドバイス

- 停止車両や自車に比べて極端に遅い車両、対向車には追従しません。
- 前方約90 m以内の自車線上の先行車をステレオカメラによって認識します。ただし、交通環境、走行状態、先行車の状態によっては認識距離が短くなる場合があります。
- 追従クルーズコントロールでは、SI-DRIVE のモードを変更することにより各モードの特徴を生かした追従走行をすることができます。
- カーブ走行中はセット車速が自車速より高いときであっても、加速しない場合があるほか、減速する場合があります。
- 40 km/h以下で走行中、セット操作を行うと、車速は自動的に40 km/hにセットされます。
- ステレオカメラが一時停止した場合、全車速追従機能付クルーズコントロールは解除されます。

■SI-DRIVE※との協調制御

SI-DRIVEのモード切り替えにより、追従クルーズコントロールの特性を変えることができます。

☆14ページ参照



I (インテリジェントモード) 選択時	穏やかな動きの追従走行を行います。
S (スポーツモード) 選択時	先行車への追従性能を重視した、メリハリのある追従走行を行います。
S# (スポーツシャープモード) 選択時	S (スポーツモード) 同等の追従走行を行います。ドライバーによるアクセル操作時は、S# (スポーツシャープ) のレスポンスが得られます。

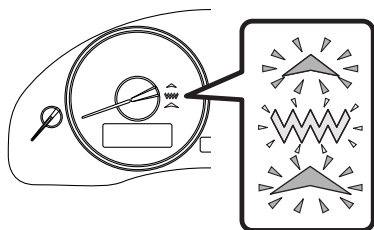
※SI-DRIVEは、SUBARU Intelligent Driveに由来します。

■ブレーキ踏み増し要求警報

ブレーキ制御による減速では不十分と判断した場合に、ブザー音と表示でお知らせします。

ブレーキ踏み増し要求警報は追従クルーズコントロールによる追従走行中に作動します。ブレーキ制御による減速では不十分と判断した場合、運転者に注意を促す機能です。

- この機能が作動すると、メーターの車間距離警告灯が点滅（「」と「」が交互に点滅）し、ブザーが“ピッピッピッ…”と鳴ります。このときマルチインフォメーションディスプレイに「BRAKE!」と表示されます。
- この機能が作動した場合は、必要に応じてブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。




S00260

BRAKE !

S00165

 **警告**

- ブザー音が頻繁に鳴るような状況では、全車速追従機能付クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合にはブレーキ踏み増し要求警報が作動しないことがあります。
 - － 先行車との相対速度が小さいとき。(ほぼ同じ速度で走っているとき)
 - － 先行車の方が自車より速いとき。(車間距離が次第に離れているとき)
 - － アクセルペダルを踏んでいるとき。
 - － ブレーキペダルを踏んでいるとき。
 - － 他車が至近距離に割り込んできたとき。
 - － 先行車が急減速したとき。
 - － 急な上り坂、下り坂が繰り返されるとき。
- 料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両は認識が遅れて、ブレーキ踏み増し要求警報が作動しないことがあります。

 **注意**

道路状況（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車および周辺車両の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）、天候状況によっては、隣車線の車両や路肩の障害物を捕捉してブレーキ踏み増し要求警報が作動する場合があります。

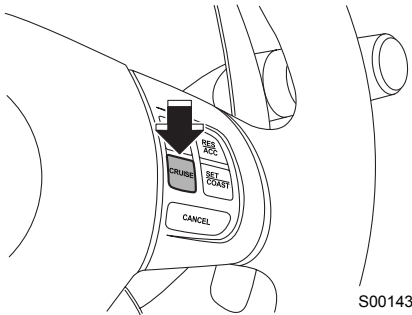
追従クルーズコントロールの使用法

以下の条件のときにセットできます。

- セレクトレバーが[D]のとき
- ブレーキペダルを離しているとき
- 自車速が0 km/h～100 km/hのとき

■ 追従クルーズコントロールをセットするとき

① CRUISE（クルーズ）スイッチを押します。このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“CRUISE”と“車間設定”が表示されます。さらに、セット可能な状況になると、“READY”が表示されます。



全画面表示



簡易画面表示

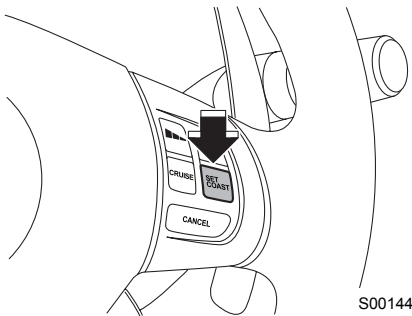


② SET/COAST（セット/コースト）スイッチを押します。

追従クルーズコントロールがセットされ、制御が始まります。

マルチインフォメーションディスプレイにセット表示が表示されます。

先行車を認識していないときはメーター内の追従クルーズ動作表示灯の下側（表示灯）が点滅して、セット車速で定速走行します。

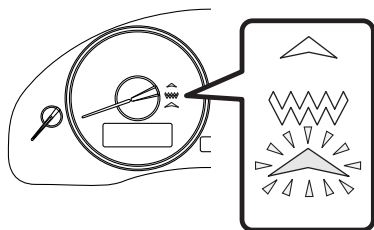


全画面表示



簡易画面表示



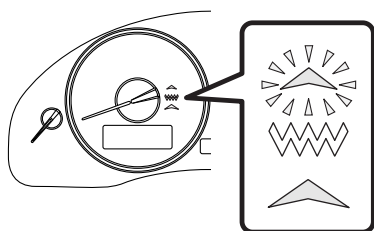


S00184

先行車を認識すると、“ピッ”と鳴ると同時にメーター内の追従クルーズ動作表示灯の上側（表示灯）が点滅し、下側（表示灯）が点灯に切り替わります。

先行車に合わせ、一定の車間距離を保って追従走行します。このとき、セット車速が速度の上限となります。


追従走行開始後は、先行車の動きに合わせて停止付近まで制御を続け、停止間際に自動で解除するとともにクルマが停止します。このとき、ブザー音と共にマルチインフォメーションディスプレイにキャンセル表示を行います。自動ブレーキが解除されてクリーブ走行を開始しますので、必要に応じてブレーキペダルを踏んで車両を停止させます。



S00153

**CRUISE
CANCEL**

S00196

 **アドバイス**

- セット車速は40 km/h～100 km/hの範囲内で設定でき、セット車速を上限として追従走行します。
自車速が40 km/h以下のときにセットした場合、セット車速は40 km/hに設定されます。
- 追従クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、ブレーキペダルが動き制動灯が点灯します。
- 追従クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したあと、ブレーキペダルが戻るときに音がすることがありますが異常ではありません。
- セレクトレバーがD以外の場合はセットできません。
- マニュアルモードを選択している場合はセットできません。
- VDCをOFFにしているときはセットできません。
- エンジンを止めると全車速追従機能付クルーズコントロールは自動的にOFFになります。
- 車間設定はエンジンをかけるたびに「長」に設定されます。「中」または「短」に切り替えたいときは車間設定スイッチを操作します。

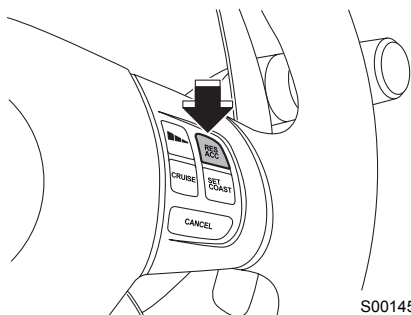
☆15ページ参照

- セット車速までの加速中に先行車を認識すると、再び車間距離を保ち追従走行を行います。
- 素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 停車中にブレーキペダルを離してから約5秒以上たつと、セットできなくなります。この場合は、ブレーキペダルまたはアクセルペダルを踏んでからセットしてください。

■セット車速を変えるとき

●セット車速を上げたいとき

- 追従クルーズコントロールをセットして走行中に、RES/ACC(リジューム/アクセラレート)スイッチを押すと、セット車速が5 km/hきざみで上がります。マルチインフォメーションディスプレイにセット車速が表示されます。



S00145

全画面表示



簡易画面表示

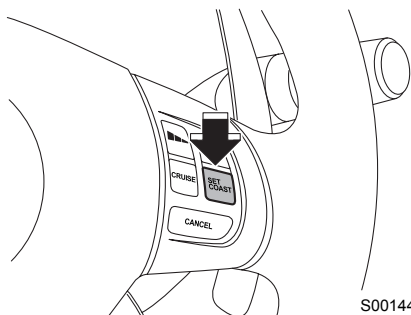


S00154

- 先行車がない場合にRES/ACC(リジューム/アクセラレート)スイッチを長く押し、押し続けている間だけ加速します。このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

●セット車速を下げたいとき

- 追従クルーズコントロールをセットして走行中に、SET/COAST(セット/コースト)スイッチを押すと、セット車速が5 km/hきざみで下がります。マルチインフォメーションディスプレイにセット車速が表示されます。



S00144

全画面表示



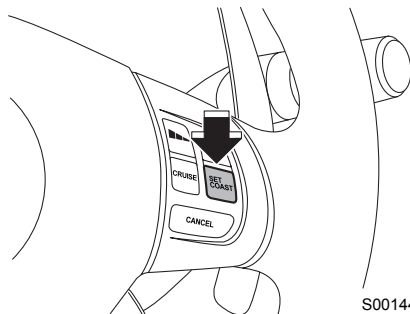
簡易画面表示



S00155

- SET/COAST(セット / コースト)スイッチを長く押し、押し続けている間だけ減速します。このあと、スイッチを離れたときの車速で再セットされます。

- ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。
(追従クルーズコントロールが解除されます。)
希望の速度になったらSET/COAST (セット/コースト) スイッチを押します。



S00144

●一時的に加速したいとき

アクセルペダルを踏むと、加速します。
アクセルペダルを離すと、セット車速まで戻ります。

●減速したいとき

ブレーキを踏むと、減速します。
そのとき、追従クルーズコントロールは解除されます。
セット車速表示にメモリー表示が表示され、
セット待機状態になります。

全画面表示



簡易画面表示




S00173



🏠 アドバイス

- 追従制御しているときは、先行車に合わせた車速で制御されるため、RES/ACC (リジューム/アクセラート) スイッチを押して、先行車の速度以上にセット車速を上げて加速しません。
このとき機能上はセット車速を変更しているため、先行車を認識なくなるとその設定した車速まで加速します。セット車速はマルチインフォメーションディスプレイのセット車速表示を確認しながら変更してください。
- 追従クルーズコントロールをセット中でアクセルペダルを踏んでいるときは、追従クルーズコントロールによる自動ブレーキも警報も行いません。

■車間距離設定の変え方

先行車との車間距離を選ぶことができます。

-  (車間設定) スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

S00157

アドバイス

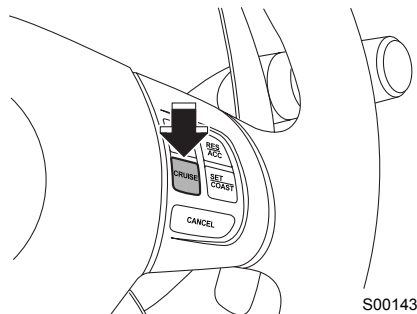
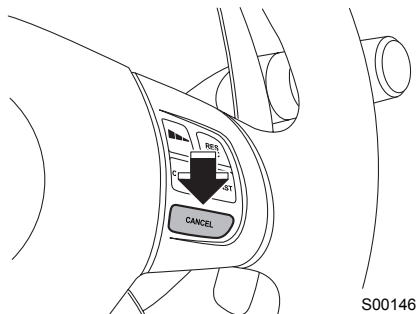
- CRUISE (クルーズ) スイッチを押すと、車間設定は「長」の設定となります。
- 車間距離は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
- 車速100 km/hで走行しているとき、車間設定での車間距離の目安は次の通りです。
 - 長：約55 m
 - 中：約45 m
 - 短：約35 m
- 車速40 km/hで走行しているとき、車間設定での車間距離の目安は次の通りです。
 - 長：約25 m
 - 中：約20 m
 - 短：約15 m

■追従クルーズコントロールの解除

●ドライバー操作による追従クルーズコントロールの解除方法

次のいずれかの操作で追従クルーズコントロールが解除されます。

- CANCEL（キャンセル）スイッチを押す。
- CRUISE（クルーズ）スイッチを押す。
- ブレーキペダルを踏む。



**CRUISE
CANCEL**

S00196

アドバイス

自車速が40 km/h以下で先行車を捕捉していない場合、SET/COAST（セット/コースト）スイッチを長押しすると、クルーズコントロールが解除されます。

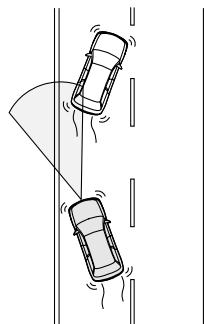
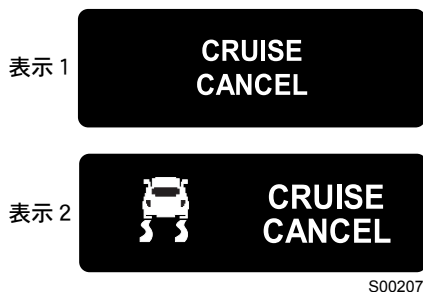
●システムによる追従クルーズコントロールの自動解除条件

走行中、“ピー”というブザー音とともに追従クルーズコントロールが自動的に解除されることがあります。解除される条件に合わせて表示を行います。

▼条件1

次の場合、マルチインフォメーションディスプレイは表示1を約3秒間表示後、表示2を約3秒間表示します。

- ABS、VDCまたはTCSが作動したとき
- タイヤが空転したとき



S00200

▼条件2

次の場合、マルチインフォメーションディスプレイは右の表示を約3秒間表示します。

- セット中に自車速が約 140 km/h を超えたとき。
- セット中に自車速が約 2 km/h を下回ったとき。
- セレクトレバーを[D]以外にしたとき。
- ATをマニュアルモードにしたとき。
[D]レンジに戻すことにより再度使用することができます。
- [D]レンジで走行中パドルシフトを操作したとき。
シフト表示が[D]に戻ると再度使用することができます。



S00196

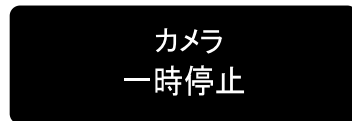
▼条件3

次の場合は“ピー”というブザー音とともにステレオカメラが一時停止状態となります。追従クルーズコントロールをセットしている場合は自動で解除されます。

- フロントガラスが汚れている、あるいは曇っているとき
- VDCをOFFにしたとき。
VDCをONに戻すと、一時停止から復帰します。
- 前方から強い光（太陽光など）を受けたとき。
強い光があたらない状況になると、一時停止から復帰します。
- 豪雨、豪雪、濃霧などの悪天候時



全画面表示



簡易画面表示



S00250

▼条件4

- ステレオカメラの軸がずれ、先行車の認識が困難になったとき

☆詳しくは51ページの「警告画面表示一覧」をご覧ください。

▼条件5

- EyeSightに異常があるとき

☆詳しくは51ページの「警告画面表示一覧」をご覧ください。



警告

凍結路や積雪路など滑りやすい路面では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、追従クルーズコントロールを使用しないでください。

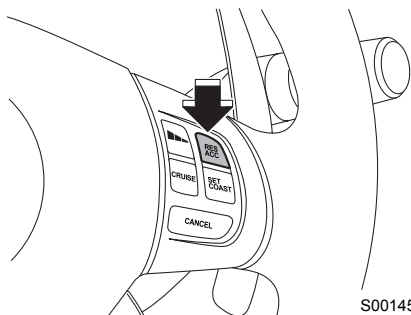
🏠 アドバイス

- ステレオカメラシステム警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから、再びエンジンを始動してください。この操作をしても、表示が点灯し続けるときは、全車速追従機能付クルーズコントロールの異常が考えられますので、全車速追従機能付クルーズコントロールは使用できません。通常走行には支障はありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。
- 追従クルーズコントロールが自動で解除されたときの状態が解消されてから、再びセット操作を行ってください。状態が解消されても表示が点灯し続けるときは、追従クルーズコントロールの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、スバル販売店で点検を受けてください。

■メモリーされている車速に再びセットするとき

前回のセット車速がメモリーされていますので、その車速に再びセットしたいときは、RES/ACC（リジューム/アクセラレート）スイッチを押します。

（マルチインフォメーションディスプレイが再びセット状態の表示になります。）



S00145

全画面表示



簡易画面表示



S00173

定速クルーズコントロール

アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。

警告


- 定速クルーズコントロール中は車間距離を保つ追従走行を行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので定速クルーズコントロールを使わないでください。
 - － 交通量の多い道や急カーブのある道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - － 急な下り坂
急な下り坂ではエンジンプレーキが充分効かないため、セット車速を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

定速走行するときは、追従クルーズコントロールでの使用をお奨めします。

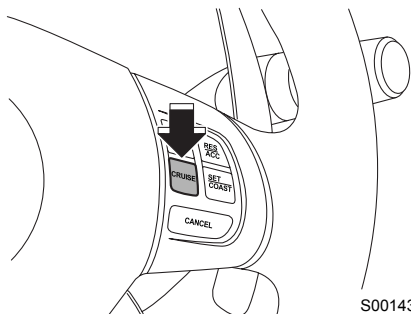
定速クルーズコントロールの使用方法

以下の条件のときにセットできます。

- － セレクトレバーが  のとき
- － ブレーキペダルを離しているとき
- － 自車速が40 km/h～100 km/hのとき

■定速クルーズコントロールをセットするとき

- ① CRUISE（クルーズ）スイッチを押します。このときマルチインフォメーションディスプレイに“CRUISE”と“車間設定”が表示されます。（追従クルーズコントロール）



S00143


全画面表示

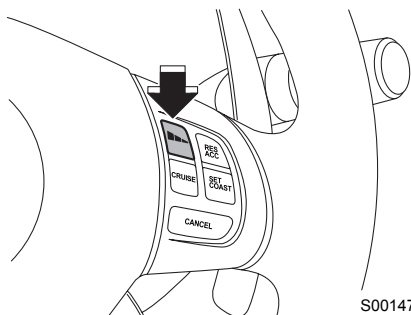


簡易画面表示



S00151

- ② （車間設定）スイッチを約2秒以上押して定速クルーズコントロールに切り替えます。このときマルチインフォメーションディスプレイに“CRUISE”と“定速”が表示されます。（定速クルーズコントロール）



S00147

全画面表示



簡易画面表示

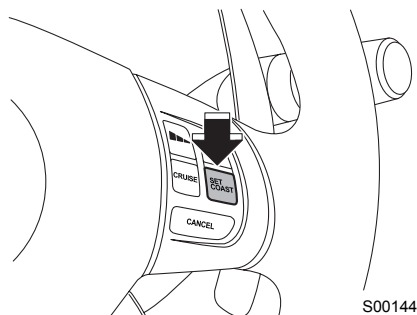


S00171

③ SET/COAST (セット/コースト) スイッチを押します。

スイッチを押したときの車速がセット車速となり、定速走行します。

マルチインフォメーションディスプレイにセット車速は表示されません。



全画面表示

[I] CRUISE

定速

簡易画面表示

定速

S00172

 警告

定速クルーズコントロールでは、ブレーキ踏み増し要求警報は作動しません。

 アドバイス

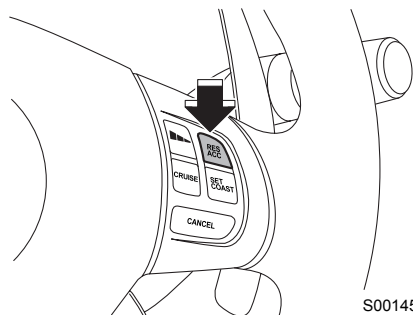
- 追従クルーズコントロールに戻りたいときは、定速クルーズコントロールを解除して、車間設定ボタンを約2秒間長押しします。
- 定速で走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを離すとセット車速まで戻り、定速走行します。

■セット車速を変えるとき

●セット車速を上げたいとき

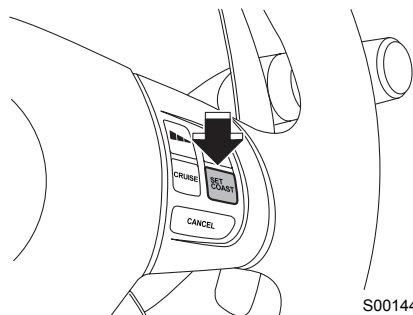
次の二つの方法があります。

- RES/ACC (リジューム / アクセラレート) スイッチを押し続け、希望速度になったら離します。



S00145

- アクセルペダルを踏み、速度を上げます。希望の速度になったら SET/COAST (セット/コースト) スイッチを押します。

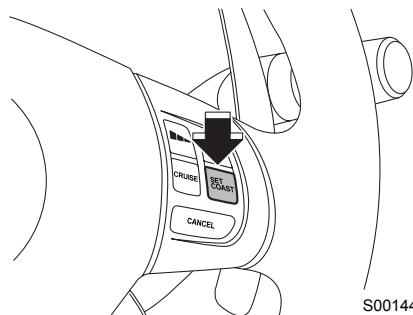


S00144

●セット車速を下げたいとき

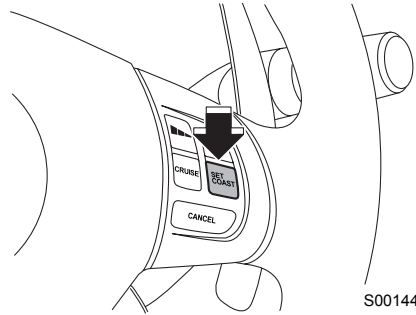
次の二つの方法があります。

- SET/COAST (セット/コースト) スイッチを押し続け希望速度になったら離します。



S00144

- ブレーキペダルを踏み、速度を下げます。
(定速クルーズコントロールが解除されます。)
希望の速度になったらSET/COAST (セット/コースト) スイッチを押します。



S00144

●一時的に加速したいとき

アクセルペダルを踏むと、加速します。
アクセルペダルを離すと、セット車速まで戻ります。

●減速したいとき

ブレーキペダルを踏むと、減速します。
(定速クルーズコントロールが解除されます。)

全画面表示

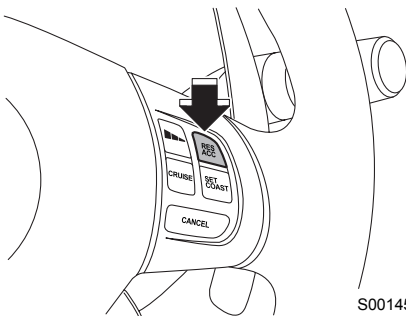


簡易画面表示



S00171

解除前のセット車速で再びセットしたいときは、RES/ACC (リジューム/アクセラレート) スイッチを押します。マルチインフォメーションディスプレイが再びセット状態の表示になります。



S00145

全画面表示



簡易画面表示

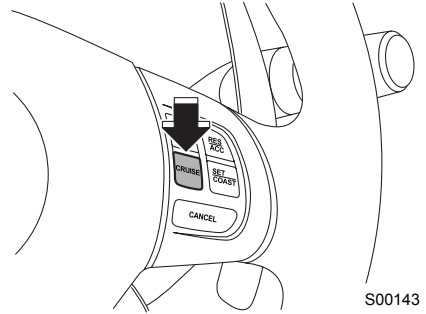
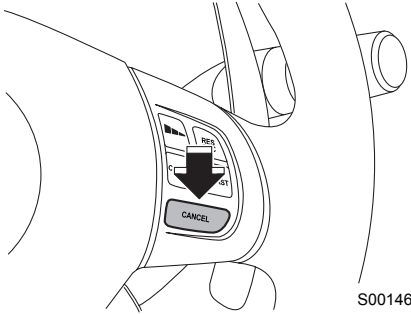


S00172

■定速クルーズコントロールの解除

次のいずれかの操作で定速クルーズコントロールが解除されます。

- CANCEL（キャンセル）スイッチを押す。
- CRUISE（クルーズ）スイッチを押す。
- ブレーキペダルを踏む。



次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動で解除されます。以下の条件が解消された後に再度セット操作をしてください。

- セレクトレバーを[D]レンジ以外にしたとき。
[D]レンジに戻すことにより、復帰します。
- ATをマニュアルモードにしたとき。
[D]レンジに戻すことにより復帰します。
- [D]レンジで走行中パドルシフトを操作したとき。
シフト表示が[D]に戻ると再度使用することができます。
- VDCをOFFにしたとき。
VDCをONに戻すと復帰します。
- 自車速が約30 km/h以下になったとき。（急な登り坂など）
- 自車速が約140 km/h以上になったとき。（急な下り坂など）
- ABS、VDCまたはTCSが作動したとき。
- タイヤが空転したとき。
- EyeSightに異常があるとき。

☆詳しくは51ページの「警告画面表示一覧」をご覧ください。

プリクラッシュブレーキ

前方障害物に衝突する危険性がある場合、運転者への警報による衝突回避の支援を行います。それでも衝突回避できない場合は、ブレーキ制御によって衝突被害を軽減します。また、フルラップ（正面）衝突だけでなくオフセット（右または左半分）衝突にも対応しています。

プリクラッシュブレーキ機能を過信しないでください。

プリクラッシュブレーキ機能は、衝突時の自車速度を低減させる目的のものです。

運転者の操作なしで衝突を回避することはできません。運転時は常に、先行車との距離や二輪車、自転車、歩行者、路上の障害物に注意を払い、必要に応じてブレーキペダルを踏むなど安全運転に努めてください。

警告

- ステレオカメラの機能特性や自車の走行状態によっては、前方障害物に衝突する危険性がある場合でもプリクラッシュブレーキが作動しないことがあります。常に先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキペダルを踏むなどして車間距離を保ち、安全運転に努めてください。
- 小さな対象物（小動物、幼児など）に対しては、プリクラッシュブレーキが作動しない場合があります。

注意

- 以下のような場合は、必ずプリクラッシュブレーキを OFF にしてください。プリクラッシュブレーキが予期しない作動をする可能性があります。
 - － EyeSight付車をイグニッションONでけん引する場合
 - － EyeSight付車をキャリアカーに積載する際
 - － シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどの使用時
 - － リフトアップし、エンジンをかけタイヤを空転させたいとき
 - － 垂れ幕や旗、垂れ下がった枝、草むらなどに触れながら通過するとき
 - － サーキットなどでスポーツ走行するとき
- 以下のような場合は、プリクラッシュブレーキが作動することがありますので安全運転に努めてください。
 - － 前車に接近して走行するとき
 - － ETCゲートを高速で通過するとき

アドバイス

P-CR OFF表示灯が点灯しているときはプリクラッシュブレーキは作動しません。

プリクラッシュブレーキの作動

走行中、前方に障害物があるとき、以下の順でシステムが作動し、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行います。ブレーキ制御中は制動灯も点灯します。

車間距離警報：

先行車の接近を検知した場合に、“ピッピッピッ…”というブザー音とメーター内の表示で注意を促します。

車間距離警報は追従クルーズコントロールをセットしていないときに作動します。

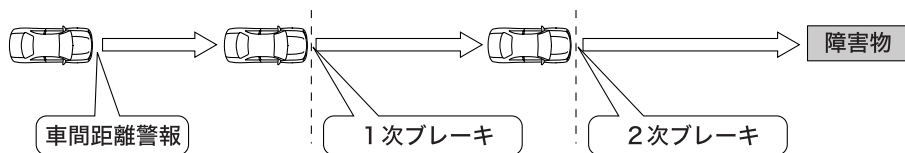
ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離をとると解除されます。







1次ブレーキ：

走行時に前方障害物に衝突する可能性があるとは判断した場合、“ピッピッピッ…”というブザー音とメーター内の表示で注意を促し、ブレーキ制御を行います。運転者が衝突回避操作などにより、衝突する可能性が低くなったと判断した場合、作動が解除されます。

2次ブレーキ：

さらに衝突する可能性が高まったと判断した場合、“ピー”というブザー音に変わり、1次ブレーキより強くブレーキ制御を行います。その後、運転者による衝突回避操作の有無にかかわらず、衝突が回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を継続します。



作動システム	自動ブレーキの強さ	マルチインフォメーションディスプレイの表示	追従クルーズ動作表示および車間距離警告灯の点灯	ブザー音
車間距離警報	ブレーキ制御なし	BRAKE! (白文字)	「  」と「  」が交互に早く点滅	ピッピッピッ…
1次ブレーキ	弱い	BRAKE! (白文字)	「  」と「  」が交互に点滅	ピッピッピッ…
2次ブレーキ	強い	BRAKE! (黄文字)	「  」と「  」が交互に早く点滅	ピー

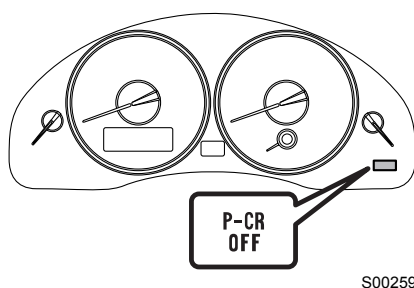
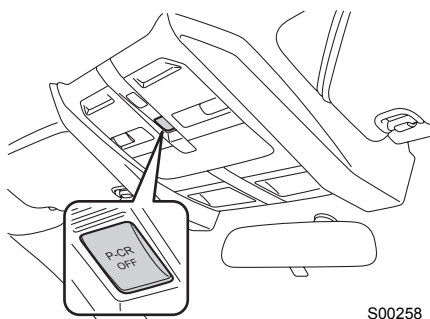
S00257

アドバイス

自車速が2 km/h以下または140 km/h以上のときはプリクラッシュブレーキは作動しません。

プリクラッシュブレーキをOFFにするとき

P-CR OFFスイッチを長押しすることによって、プリクラッシュブレーキをOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のP-CR OFF表示灯が点灯します。ONに戻すときは再度P-CR OFFスイッチを長押ししてください。ONにすると、P-CR OFF表示灯が消灯します。



アドバイス

- プリクラッシュブレーキをOFFにすると、AT誤発進抑制制御もOFFになります。
- プリクラッシュブレーキをOFFにしても、エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンを始動するとプリクラッシュブレーキはONになります。



AT誤発進抑制制御

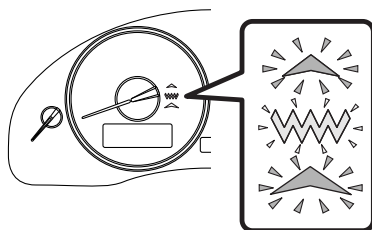
前方10 m以内に障害物を検知している場合、停車または徐行状態から、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断したとき、エンジン出力を制限し発進をゆるやかにします。

AT誤発進抑制制御を過信しないでください。AT誤発進抑制制御はペダルの踏み間違いによる事故を回避するものではありません。発進時はシフトやペダルの位置を充分ご確認のうえ、操作をするなど安全運転に努めてください。



S00265

このシステムが作動すると、メーターの車間距離警告灯が点滅（「」と「」が交互に点滅）し、ブザー音が“ピッピッピッ…”と鳴ります。このときマルチインフォメーションディスプレイに「BRAKE!」と白文字で表示されます。



S00260

BRAKE !

S00165

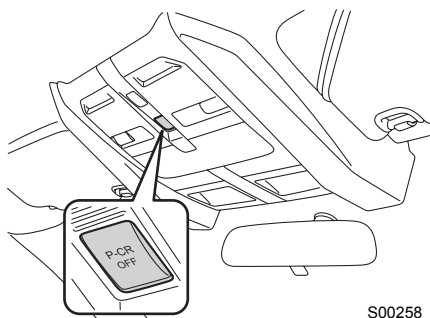
警告

- ステレオカメラが認識しづらい場面では作動しない場合があります。
- 障害物の高さによっては作動しない場合があります。（おおよそボンネットの高さより低い障害物）

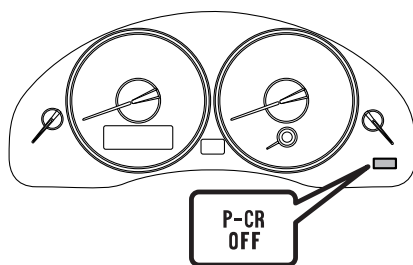
AT誤発進抑制制御をOFFにするとき

P-CR OFFスイッチを長押しすることによって、AT誤発進抑制制御をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のP-CR OFF表示灯が点灯します。

ONに戻すときは再度P-CR OFFスイッチを長押ししてください。ONにすると、P-CR OFF表示灯が消灯します。



S00258



S00259

アドバイス

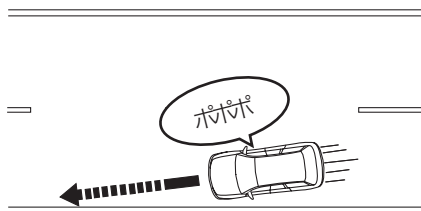
- AT誤発進抑制制御をOFFにするとプリクラッシュブレーキもOFFになります。
- AT誤発進抑制制御をOFFにしても、エンジンスイッチをOFFにし、再度エンジンを始動するとAT誤発進抑制制御はONになります。
- 万一、車両が踏み切り内で閉じ込められた場合、EyeSight が遮断機を障害物と検知する場合がありますが、アクセル操作によりゆっくりと前進することができます。あわてずにアクセルを踏み、脱出してください。また、AT誤発進抑制制御をOFFにすることによって、障害物の検知を解除することができます。

車線逸脱警報

車速が約40 km/h以上のときに車線を逸脱しそうになると注意を促します。

車線逸脱警報が作動するとブザー音が“ポポポ”と鳴ります。このときマルチインフォメーションディスプレイに「前方注意!」と表示されます。

また、ふらつき警報が作動した後も、ふらつきが収まらない場合は、通常より早いタイミングで作動します。



S00261

S00254

アドバイス

下記の場合、車線逸脱警報は作動しません。

- 車線逸脱警報をOFFにしているとき
- 自車の速度が約40 km/h未満のとき
- 一度車線逸脱警報を行った後の約5秒間
- ハンドルを大きくまたは速く切ったとき
- 先行車との車間距離が短いとき
- 方向指示器作動中とレバーを戻した後の約5秒間
- 車線逸脱警報作動後、車線の内側に戻っていないとき
- 車線の幅が狭いとき
- 車線が認識しづらいとき
- 先行車が障害物を避けるため回避行動をとり、それに続いて自車も急なハンドル操作を行ったとき

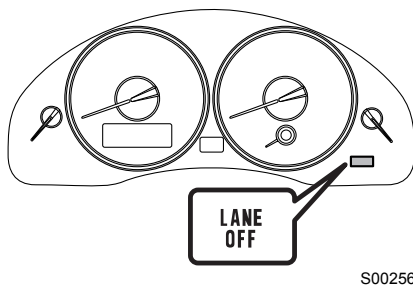
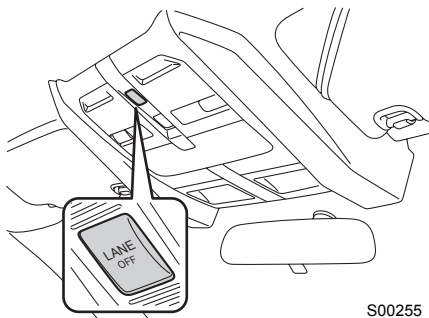
下記の場合、車線を誤って認識し、車線逸脱警報が作動することがあります。

- 濡れた路面や積雪路でのタイヤの跡など
- 雪とアスファルトの境目や道路の補修跡など
- 二重車線など

車線逸脱警報をOFFにするとき

LANE OFFスイッチを長押しすることによって、車線逸脱警報をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のLANE OFF表示灯が点灯します。

ONに戻すときは再度LANE OFFスイッチを長押ししてください。ONにすると、LANE OFF表示灯が消灯します。

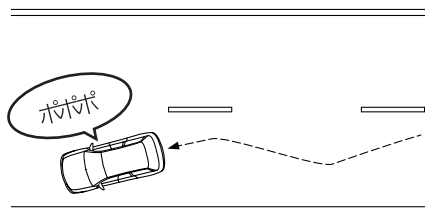


アドバイス

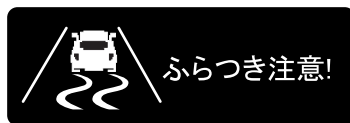
車線逸脱警報をOFFにすると、ふらつき警報もOFFになります。

ふらつき警報

車線内での車両の蛇行パターンからふらつきを検知し注意を促します。ふらつき警報が作動するとブザー音が“ポポポ”と鳴ります。このときマルチインフォメーションディスプレイに「ふらつき注意!」と表示されます。
車速が約50km/h以上で作動します。



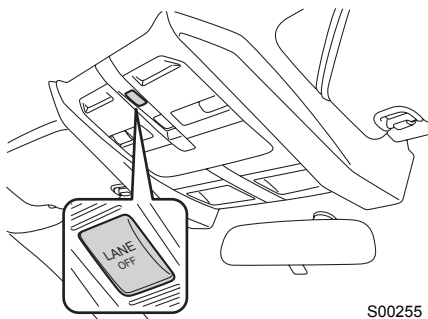
S00262



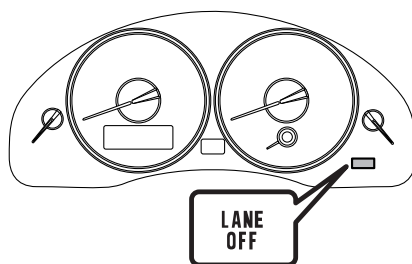
S00253

ふらつき警報をOFFにするとき

LANE OFFスイッチを長押しすることによって、ふらつき警報をOFFにすることができます。OFFにすると、メーター内のLANE OFF表示灯が点灯します。ONに戻すときは再度LANE OFFスイッチを長押ししてください。ONにすると、LANE OFF表示灯が消灯します。



S00255



S00256

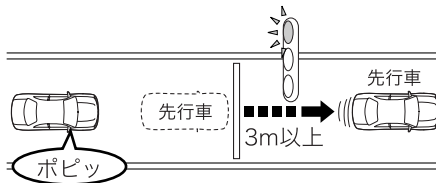


アドバイス

- ふらつき警報をOFFにすると、車線逸脱警報もOFFになります。
- ふらつきは過去数分間の走行データを元に検知しています。ふらつきはじめてもすぐには検知できません。また、ふらつきがおさまったあともしばらくふらつき警報の作動が続くことがあります。
- ふらつき警報はつかれた時やよそ見など運転への集中度が落ちた時にも警報を行うことがあります。必要に応じてこまめに休憩をとることをお奨めします。
- 以下の状況の時は、作動しない場合があります。
 - － カーブが連続する道を走行しているとき
 - － 車速が大きく変動するとき
 - － 車線変更をした直後のとき
 - － 車線が認識しづらいとき

先行車発進お知らせ

先行車の発進後ブレーキを踏み続けた場合、ブザー音と表示でお知らせします。
 先行車に続いて停車（約10 m以内）したあと、ブレーキペダルを踏み続けると先行車を認識し続けます。先行車が発進して約3 m以上離れても自車が発進しないときは、“ポピッ”というブザー音とマルチインフォメーションディスプレイの表示により、先行車の発進をお知らせします。



S00264

S00163

アドバイス

- マルチインフォメーションディスプレイの表示は、CRUISEスイッチをONにしていないと表示されません。この場合はブザー音だけでお知らせします。
- 次のような状況では、先行車が発進していなくても先行車発進お知らせが働いてしまう場合や、先行車が発進していても先行車発進お知らせが働かない場合があります。
 - － 停止した先行車との間にオートバイなどが割り込んできたとき
 - － 天候や道路形状などにより、先行車を認識できないとき

ブザー音一覧

ブザー音	状態	参照先
“ピッ”	追従クルーズコントロール作動時 ・先行車を認識した場合 ・先行車がいなくなった場合	☆24ページ参照
“ピーッ”	追従・定速クルーズコントロールが解除された場合	☆31、39ページ参照
“ピッピッピッ…”	ブレーキ踏み増し要求警報作動時 (追従クルーズコントロール)	☆22ページ参照
“ピッピッピッ…”	プリクラッシュブレーキ 1次ブレーキ作動時	☆41ページ参照
“ピー—…”	プリクラッシュブレーキ 2次ブレーキ作動時	☆41ページ参照
“ピッピッピッ…”	AT誤発進抑制制御作動時	☆43ページ参照
“ピッピッピッ…”	車間距離警報作動時	☆41ページ参照
“ポポポ”	車線逸脱警報作動時	☆45ページ参照
“ポポポ”	ふらつき警報作動時	☆47ページ参照
“ポピッ”	先行車発進お知らせ作動時	☆49ページ参照
“ピッ”	警告表示点灯時	☆51ページ参照



アドバイス

車間距離警報と車線逸脱警報が同時に発生したときには、車間距離警報を優先します。

警告画面表示一覧








EyeSightに異常がある場合、表示灯とマルチインフォメーションメーターの表示によってお知らせします。表示内容を確認し、適切な処置を行ってください。








全画面表示	簡易画面表示	点灯する表示灯	ブザー音	原因	処置
		P-CR OFF 表示灯、LANE OFF 表示灯、ステレオカメラシステム警告灯 (電源正常時)	ピッ	ステレオカメラの故障	スバル販売店で点検を受けてください。
クルーズスイッチON時のみ 	クルーズスイッチON時のみ ↓ 	P-CR OFF 表示灯、LANE OFF 表示灯	ピッ	ステレオカメラの軸がずれている	スバル販売店で点検を受けてください。
クルーズスイッチON時のみ 	クルーズスイッチON時のみ ↓ 	P-CR OFF 表示灯、LANE OFF 表示灯	ピッ	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨、豪雪、濃霧などの悪天候 フロントガラスの汚れや曇り 前方からの強い光 (太陽光、ヘッドランプの光など) ステレオカメラが使用可能温度の範囲外 	ステレオカメラ本体の取り扱いの注意事項を守ってください。 ☆4 ページ参照 それでも表示が消えない場合は、スバル販売店で点検を受けてください。




注意



簡易画面表示では警告内容の詳細が確認できないため、ハンドル左下にある操作スイッチ「▲」または「▼」を操作して全画面表示にし、詳細を確認してください。



故障と思う前に








	クルーズコントロールがセットできない
	クルーズスイッチを押し忘れていませんか？ 押し忘れているときはCRUISEランプが消灯しています。
	ステレオカメラが一時停止状態になっていませんか？ ステレオカメラが一時停止状態の時は、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。一時停止状態の要因を解消した後、再度セット操作を行ってください。
	[READY]表示が出ていますか？ (追従モード時) [READY]表示が出ていないとセットできません。[READY]表示が出ているときセット操作してください。
	[READY]表示が出ない
	定速クルーズコントロールではありませんか？ 定速クルーズコントロールでは、マルチインフォメーションディスプレイに定速の表示が出ます。
	セットできる条件ですか？ 下記のいずれかのときは、READY表示は出ません。 <ul style="list-style-type: none">● ブレーキペダルを踏んでいるとき● 自車速が0 km/h～100km/h以外のとき● セレクトレバーがD以外のとき



	先行車を認識しない、認識するのが遅い、すぐに認識しなくなる等
	停止車両、極端に遅い車両ではありませんか？ 停止車両や極端に遅い車両は認識が遅れる場合があります。
	フロントガラスが汚れたり、曇ったりしていませんか？ フロントガラスに汚れや曇りがある場合、先行車を認識しない場合があります。 フロントガラスの汚れや曇りを取り除いてから再びご使用ください。
	先行車が遠い距離にいませんか？ ステレオカメラの最大の認識距離は約90 mです。それ以上の距離が開いていると認識しません。
	カーブ路ではありませんか？ 認識範囲は左右に限界があります。
	登り降りが連続した道路（陸橋など）、またはバンク路面ではありませんか？ 認識範囲は上下に限界があります。
	先行車が入れ替わっていませんか？ 入れ替わった場合は、認識が遅れる場合があります。



	先行車がないのに制御を行う
	隣車線に車両はありませんか？ 道路状況によっては隣車線の車両を先行車として認識する場合があります。
	コーナー付近を走行中ではありませんか？ コーナー走行中は、ガードレール、路側の構造物に対してブレーキ制御を行う場合があります。



	ステレオカメラが一時停止から復帰しない
	VDCがOFFになっていませんか？ VDCがOFFのときはステレオカメラが一時停止状態になります。

	ブレーキ踏み増し警報のタイミングが早いとき、または遅いときがある
	ブレーキ踏み増し警報は、先行車との相対距離や相対速度などから、システムが踏み増し要と判断したときに鳴りますので、先行車のブレーキのかけ方によってはタイミングが変わる場合があります。

	先行車離脱の後の加速が遅いとき、または速いときがある
	先行車の離脱タイミングによっては、離脱判断が遅くなる場合があり、加速開始が遅く感じる、ブレーキ制御が長く感じる可能性があります。
	SI-DRIVEはどのモードを選択していますか？ 選択したモードにより、加速が異なります。
	クルーズコントロールが勝手に解除された
	ブレーキを踏んでいませんか？またはキャンセルスイッチを押していませんか？
	先行車がないのに、先行車発進お知らせが作動する
	車両前方の周辺物や交通環境、天候によって先行車以外の物に対して先行車発進お知らせが作動する場合があります。

	自動ブレーキが作動すると音がする
	自動ブレーキの作動音で異常ではありません。

	渋滞走行時、ブレーキ制御を行う頻度が高い
	人の運転と異なり先行車の動きのみにあわせての制御ですので、頻繁な加減速となる場合があります。なお、このような状況で車間距離が保ちにくい場合は使用を控えてください。

	下り坂でクルーズコントロールを使用中に、弱いショックを感じる
	シフトダウン（低速ギヤに変速する）制御を行っているので弱いショックを感じることがあります。

MEMO

さくいん

あ

EyeSightについて 2

え

AT誤発進抑制制御 43

AT誤発進抑制制御を

OFFにするとき 44

SI-DRIVEセレクトスイッチ 14、22

SI-DRIVEモード表示 16

か

カメラ一時停止 17

カメラ一時停止表示 17

き

CANCELスイッチ 13

く

クルーズコントロール 8

クルーズコントロールSET表示灯 7

CRUISEスイッチ 13

クルーズセット解除表示 17

CRUISE表示 15、18

クルーズ表示灯 6

け

警告画面表示一覧 51

こ

故障と思う前に 52

し

車間距離警告灯 7

車間距離警報 41

車間距離設定の変え方 29

車間設定スイッチ 14

車間設定表示 15

車線逸脱警報 45

車線逸脱警報を

OFFにするとき 46

す

ステアリングスイッチ 13

ステレオカメラシステム警告灯 7

ステレオカメラについて 4

せ

SET/COASTスイッチ 13

セット車速表示 16

セット車速を変えるとき 27、37

SET表示 15

全画面表示と簡易画面表示の

切り替えかた 16

先行車発進お知らせ 49

全車速追従機能付クルーズ

コントロール 8

つ

追従クルーズコントロール 19

追従クルーズコントロールの

解除 30

追従クルーズコントロールの

使用方法 24

追従クルーズコントロールを

セットするとき 24

追従クルーズ動作表示灯 7

て

定速クルーズコントロール 18、34

定速クルーズコントロールの

解除 39

定速クルーズコントロールの

使用方法 34

定速クルーズコントロール表示 18

定速クルーズコントロールを

セットするとき 35

は

販売店にてカメラ調整必要 17

ひ

P-CR OFF表示灯 7

ふ

ブザー音一覧	50
ふらつき警報	47
ふらつき警報を OFFにするとき	47
ブリクラッシュブレーキ	40
ブリクラッシュブレーキの 作動	41
ブリクラッシュブレーキを OFFにするとき	42
ブレーキ踏み増し要求警報	22

ま

マルチインフォメーション ディスプレイ	15
------------------------	----

め

メーター表示構成	6
メモリーされている車速に 再びセットするとき	33
メモリー表示	16

り

RES/ACCスイッチ	13
-------------	----

れ

LANE OFF表示灯	7
READY表示	15

ご意見、ご感想、お問い合わせはお近くのスバル販売店
または弊社「SUBARUお客様センター」へお願いいたします。

*お乗りのお車に関してお電話等でお問い合わせをいただく際は、お客さま
へ正確・迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車
の車検証等をご準備いただきますようご協力をお願いしております。

①車検証記載事項

型式・車台番号・登録番号・登録年月日

②走行距離

③販売店・担当者名

SUBARUお客様センター

SUBARUコール 0120-052215

受付時間 9:00~17:00(平日)、土日祝は9:00~12:00、13:00~17:00

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

(1) ご意見/ご感想/ご案内 (カタログ、販売店、転居手続き 他)

(2) お問い合わせ/ご相談

※平日の12:00~13:00および土日祝は (1) のインフォメーション
サービスのみとなります。

富士重工業株式会社

スバルカスタマーセンターお客様相談部

〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

禁複製・転載

編集・発行

富士重工業株式会社

スバルカスタマーセンター

カスタマーセンター企画部

LEGACY BPH-002001~099999, BPE-037001~099999,
BP5-171001~999999, BP9-059001~099999,
BLE-021001~099999, BL5-084001~099999, BL9-004001~099999